

科学技術連携施策群 コーディネーター等の任命について (総合科学技術会議科学技術システム改革専門調査会専門委員)

平成 17 年 7 月 15 日
内閣府政策統括官(科学技術政策担当)

総合科学技術会議では、科学技術連携施策群のコーディネーター(8名)を含む13名を、科学技術システム改革専門調査会において科学技術連携施策群について調査、審議する専門委員として新たに任命・指名しました。(別紙参照)

1 科学技術連携施策群の目的

国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマを定め、各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から関連施策等の不必要な重複の排除、連携の強化等を図りつつ、各テーマの研究を積極的・効果的に推進することを目的とする。

- 科学技術連携施策群
 - ・ ポストゲノム - 健康科学の推進 -
 - ・ 新興・再興感染症
 - ・ ユビキタスネットワーク - 電子タグ技術等の展開 -
 - ・ 次世代ロボット - 共通プラットフォーム技術の確立 -
 - ・ バイオマス利活用
 - ・ 水素利用/燃料電池
 - ・ ナノバイオテクノロジー
 - ・ 地域科学技術クラスター

2 具体的な進め方

- コーディネーターがワーキンググループ会合(内閣府主催)等において、そのイニシアティブを発揮し、各連携施策群の目標を明らかにするとともに、その目標達成に向けて具体的な調整活動を行う。
- 具体的には、コーディネーターが中心となり、各府省の担当者や研究代表者等から関連施策の実施状況や概算要求の方針等を聴取し、連携の強化、重複の排除、補完的に必要な研究等について具体策を検討する。各府省はこの具体策を次年度の概算要求等に反映させ、各連携施策群の Plan Do Check Action のマネジメントを確立する。
- 専門調査会では、各連携施策群を担当しない中立的立場の専門委員も交えて、連携施策群の手法、体制等について、優れた成果を生み出す研究開発システムとするために解決すべき課題等に関して調査・審議を行う。

(問い合わせ先)
内閣府政策統括官(科学技術政策担当)付
参事官 渡邊淳平 電話: 03-3581-9461

(別紙)

総合科学技術会議 科学技術システム改革専門調査会 専門委員(敬称略)

ほんじょ たすく
本席 佑

(ポストゲノム担当コーディネーター)
京都大学大学院医学研究科特任教授、
日本学術振興会学術システム研究センター所長

くらた たけし
倉田 毅

(新興・再興感染症担当コーディネーター)
国立感染症研究所所長

さいとう ただお
齊藤 忠夫

(ユビキタスネットワーク担当コーディネーター)
株式会社トヨタIT開発センターCTO・チーフサイエンティスト、
中央大学研究開発機構教授

みうら ひろふみ
三浦 宏文

(次世代ロボット担当コーディネーター)
工学院大学学長

すずき もとゆき
鈴木 基之

(バイオマス利活用担当コーディネーター)
国際連合大学特別学術顧問、放送大学教授、東京大学名誉教授

ほんだ くにあき
本田 國昭

(水素利用/燃料電池担当コーディネーター)
大阪ガス株式会社技術部門理事

かじや ふみひこ
梶谷 文彦

(ナノバイオテクノロジー担当コーディネーター)
川崎医療福祉大学教授、川崎医療短期大学臨床工学科教授

しみず いさむ
清水 勇

(地域科学技術クラスター担当コーディネーター)
(独)工業所有権情報・研修館理事長、東京工業大学名誉教授

くにい ひでこ
國井 秀子

株式会社リコー常務執行役員、ソフトウェア研究開発本部長

こだて かしこ
小舘 香椎子

日本女子大学理学部教授

ちの けいこ
知野 恵子

読売新聞社編集局解説部次長

なかにし ともこ
中西 友子

東京大学大学院農学生命科学研究科教授

わかすぎ りゅうへい
若杉 隆平

慶應義塾大学経済学部教授